



檜山管内スポーツフェスタ

**「軟式野球競技」せたな町チーム優勝！ 8/19**

8月19日（日）、今金町にて開催された平成19年度檜山管内スポーツフェスタ「軟式野球競技の部」にせたな町から大成区チームと、瀬棚区と北檜山区の混合チームが出場し、混合チームは見事優勝の座に輝きました。今大会は、檜山管内より5町6チームが出場し、大成区チームは残念ながら1回戦で敗退しましたが、混合チームは1回戦の乙部町、準決勝の今金町と接戦の末勝利し、決勝戦では厚沢部町と対戦、6-3で勝利し、檜山管内の頂点の座を射止めました。

瀬棚区コミュニティ運動推進協議会（瀬棚区）

**道路愛護協力者表彰を受賞！ 8/20**

8月20日（月）、瀬棚区コミュニティ運動推進協議会（新保静夫会長）が平成19年度道路協力者として、道路フェスティバル函館地域実行委員会（函館開発建設部）より表彰されました。

当協議会は、平成7年度より国道229号線沿いの緑地帯を利用し、花を植栽する「花のまちづくり運動」を展開、函館開発建設部が地域の国道緑化を支援する「ボランティア・サポート・プログラム」の協定を結び、平成14年度から毎年、国道緑化事業を続けていることが評価され、今回受賞されました。



車椅子3台寄贈

**JAバンクから社会福祉協議会に 8/21**

JAバンク（JA/JA北海道信連）は8月21日（火）、せたな町社会福祉協議会（佐々木秀雄会長）にアルミ製の車椅子3台を贈りました。今回の寄贈は、JAバンクが地域社会との「共生」をテーマに、社会福祉への貢献活動として、平成13年度より行なっている「車椅子寄贈事業」の一環。贈呈式では、寄贈者としてJA北海道信連札幌支所 長谷川雅志所長から経過報告、JA北檜山関秀人代表理事組合長からあいさつの後、JA新函館若松支店 小西勝則代表理事専務から目録が手渡されました。

第一管区海上保安本部長より（瀬棚区）

**「瀬棚気合一本!!」に感謝状 8/27**

8月27日（月）、YOSAKOIソーランチーム「瀬棚気合一本!!」（増田みさ子代表）が、第一管区海上保安本部長より感謝状を授与されました。平成17年より、「瀬棚気合一本!!」はYOSAKOIソーラン祭りに参加する際、地方車に救命胴衣具の着用や海難防止を呼びかける広報幕を掲げながら、海での安全意識の向上を訴えており、これが海難防止活動及び海上保安思想の普及に尽力したとして、表彰されました。授与式で、踊り子代表の小泉理子さんは「これを励みに来年も頑張ります」と早くも来年に向けて意気込んでいました。





軟式野球函館支部大会で初優勝！（北檜山区）

## 紀北クラブが初の全道大会へ！ 9/1

第30回東日本軟式野球（二部）函館支部大会が、7月28日から30日まで開催され、せたな町の紀北クラブ（山内裕之監督）が念願の初優勝を果たし、9月1日から岩見沢市で開かれた全道大会へ出場しました。この紀北クラブは、丹羽野球チームが解散して新たに6年前に結成したチームで、北檜山区丹羽地域にゆかりのあるメンバー20名で構成。命名の由来は、丹羽地域の象徴でもある水仙で有名な玉川公園のある小金山（おきんざん）の昔の名称「紀北山（きほくさん）」からとったもの。全道大会では、惜しくも2試合目で敗退したものの、目標であった1勝は達成することができました。

都地域の青色混合チームがV2達成（大成区）

## 第11回わっためがして運動会 9/9

9月9日（日）、大成中学校グラウンドで恒例の商工会長杯争奪町内スポーツ大会「わっためがして運動会」が行われました。今年で11回目となるこの運動会は、大成区内の地域を緑・青・黄・桃色の4チームにわけて、毎度おなじみの「引きぎわが肝心」（綱引き）、「ヘイ！タイヤ」や、「ペットで立たせて〜！」、「ひろシーソー」などのユニークにとんだ競技を、参加した選手のみなさんはそれぞれ優勝を目指しがんばりました。結果は、青色合同チーム（都）が二年連続（V2）優勝を果たしました。



秋の訪れを告げる（瀬棚区）

## 事比羅神社例大祭 9/9-10

檜山北部の秋祭りのはじまりを告げる、瀬棚区の「事比羅神社例大祭」が9月9日、10日行われました。

9日の宵宮祭では小雨がばらつく中、松前神楽、奉納踊り、そして太鼓合戦が行われました。

10日の例大祭は午前中からあいにくの雨で、2台の山車の巡行はお昼からとなりましたが、御神輿は朝から町内を練り歩きました。

夜になり、雨が激しく降る中、綺麗に着飾った踊り子さんたちも一生懸命踊りを披露し、2台の山車は無事に町内を巡行しました。

激しい雨の中、一層激しく太鼓合戦（北檜山区）

## 雨の真駒内神社例大祭 9/14-15

五穀豊穡を祝い、北檜山区で最も盛大に執り行われる「真駒内神社例大祭」が9月14日、15日に行なわれました。今年の本まつりは、午後から雨となり、豪壮華麗なお神輿と山車には防水シートが施されたの運行となりました。太鼓合戦では、一段と激しい雨を浴びながら、より一層激しい馬鹿囃子（ばかばやし）が披露されました。





### 平成19年度せたな町成人式

8月14日(火) せたな町ふれあいプラザを会場に、平成19年度せたな町成人式が行われました。本年度の成人該当者は100名で、うち85名(男40名、女45名)の成人者が出席しました。成人宣誓では、来賓関係者が見守るなか、二階堂祐太さん、倉見ひろ子さんが「はぐくまれた両親と社会に感謝し、町の発展に貢献します」と盛夏に門出を誓いました。

### 平田内小学校児童に せたな警察署長より感謝状

七夕の日、せたな警察署宮野駐在所に交通安全への願いがこめられた短冊が平田内小学校の児童より届けられました。このほかにも宮野地区、平浜地区の地域住民と共に交通安全の街頭啓発を行うなど、交通安全への積極的な取り組みに対して、9月11日(火) せたな警察署長より感謝状が贈られました。

児童会長の澁谷和寛くん(6年生)がありがたいの言葉を述べたあと、副会長の杉村崇斗くん(5年生)が、「飛び出しは絶対にしません」などと改めて、交通安全宣言をしました。こどもたちと一緒に、車も人も交通ルールを守り安全で住みよい町づくりに努めましょう！



## プリズム

十九年度版国民生活白書「つながりが楽しく豊かな国民生活」(内閣府発表)によると、家族が一緒にいることが難しくなっている状況や地域のつながりが希薄化している実態などが示されています。

「家族のつながり」では、家族と過ごす時間について、三十〜四十代の働き盛りの男性の約三分がは充分ではないと感じていることや、その要因として長時間労働が挙げられています。

七十年代と比べ、父親や中学生を中心に午後六時以降の起床在宅率(自宅にいて起きる人の割合)が低下しており、平日の家族それぞれ在宅率が五割を超えるのは、午後八〜九時台だけとなっています。

また、中・高校生は一人で過ごしがちで、平日夜に三時間以上家に一人で過ごしている割合は約三分と他の年齢層に比べて際だつて高くなっています。

「地域のつながり」では、近所付き合いが深く、地域活動にも積極的に参加する「つながり持ち」は十六%、地域から孤立する人が約二割となっており、十年前と比べて、地域のつながりは希薄化しているようです。

ただ、社会への貢献意識も高まっており、地域活動に参加したいと考えている人が多く、一人ひとりが魅力的なつながりを持つことは「少子化の流れを変え、次世代を背負って立つ子どもや若者が健全に育成されることにもつながっていくだろう」と結んでいます。



## 平成20年度から 馬場川小学校が特認校になります

特認校  
平成20年4月  
スタート



近年の著しい少子化傾向により、瀬棚区の馬場川小学校では、平成20年度から児童数が7名で2学級となります。地域では、学校が何よりも支えになっているということから、学校を存続させるための会を結成し、児童の確保に努力することになりました。そのための施策として、地域との協議の結果、平成20年度から特認校とすることになりました。

### ◎馬場川小学校の特色

- ・酪農地帯で牛の飼育が観察できます。
- ・総合的な学習では、野菜作りに取り組み、自然豊かな学習が出来ます。
- ・山間の学校で歩くスキーなど体力づくりに適しています。

### ●特認校とは

通学する区域をなくし、町内どこの地域からも馬場川小学校に入学できる制度です。

大成区からでも、北檜山区からでも希望があれば入学できます。

●一度違った学校で体験してみませんか？入学をお待ちしています。

### ■問合せ・申込み先

- ・教育委員会学校教育係 ■0137-84-5111
- ・馬場川小学校 ■0137-87-2081

財団法人北海道文化財団「文化の宅配便開催事業」クラシックバレエ公演

### ユニット・リトルバレエ公演

- 日時／平成19年11月16日（金）午後6時30分
- 会場／大成町民センター（定員250名）
- 整理券交付期間／10月1日～11月7日（入場整理券が必要です）

小学校4年以上の全町民対象

### 第2回町民ソフトボール大会

- 日時／10月7日（日）
- 場所／北檜山スポーツ公園

### ■整理券交付・問合せ先

- ・教育委員会生涯学習課 ■0137-84-5111
- ・瀬棚教育事務所 ■0137-87-3322
- ・大成教育事務所 ■01398-4-5111

## 学校開放講座のご案内

教育委員会では、住民の学習ニーズに対応するために、学習機会の充実に努めております。その一環として、学校の教育機能を活用した学校開放講座を実施いたします。各学校での講座内容は以下のとおりですので、ご希望に合わせて、是非ご参加下さい。

講座名	内 容	実施学校	予定時期	対 象	定 員
書道教室	書道の基礎基本	若松小学校	10月下旬～	全町民	15名程度
初級パソコン教室	基本的な操作と簡単な文書作成	大成高等学校	11月上旬～	中学生以上	10名程度
中級パソコン教室	高度な文書作成と画像記録方法		11月上旬～	一般成人	10名程度
スポーツ講座 (タグラグビー教室)	ラグビーのルールを単純化した球技で誰でも楽しめるスポーツです。	瀬棚商業高等学校	11月上旬～	全町民	8名以上
初級パソコン教室	ワープロソフトを利用して干支入り年賀状を作成		11月中旬～	全町民	15名程度
上級パソコン教室	ホームページ作成の基礎から応用までを学びます		11月中旬～	全町民	15名程度
だれでもできる年賀カード作りにトライ	パソコンのワープロ機能を用いて年賀状カードを作成	平田内小学校	11月下旬	全町民	6名程度

10月は道税の納税推進強調月間です～自動車税の納税を忘れていませんか？～  
まだ、自動車税を納めていない方は、至急納税されますようお願いいたします。

■問合せ先／檜山支庁地域振興部税務課納税係 ☎0139-52-6473／道税ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/zim/>



ご利用ください

### 北檜山職業相談室での取り扱いについて

雇用保険受給手続から認定・給付まで、ご本人の申し出によりハローワーク八雲で受付ができますのでご利用ください。

ハローワーク函館・北檜山職業相談室への10月の職員派遣日は次のとおりです。大成区の方の管轄は江差出張所です。

#### ●派遣日時

- ・10月3日(水)午後1時～午後5時
- ・10月4日(木)午前9時～正午
- ・10月31日(水)午後1時～午後5時

#### ●問合せ

☎0137・84・5724  
北檜山職業相談室

#### ●問合せ

☎0137・62・2509  
ハローワーク八雲

ご利用ください

### 特設行政相談所を開設します

10月15日(月)～10月21日(日)は、「秋の行政相談週間」です。毎日の暮らしの中で、国の役所や特殊法人が行っている仕事について困っていること、納得できないこと、意見をお持ちの方は、お気軽においでください。相談は無料で、秘密は守られます。

#### ●日時／10月16日(火)

- 午後1時～午後4時まで
- 場所／大成町民センター1階和室
- 相談員／西村スミ子
- 日時／10月17日(水)
- 午後1時～午後3時まで
- 場所／宮野コミュニティセンター
- 相談員／西村スミ子

ご利用ください

### 貸金業苦情相談専用フリーダイヤル

北海道では、フリーダイヤルを設置し貸金業者を利用している方からの苦情相談を受け付けています。

#### ●電話番号(通話料無料)

☎0120・1・78372

#### ●受付日／毎週月曜日と金曜日(祝・祭日、12月29日)

- 1月3日を除く)
- 受付時間／午前10時～正午、午後1時～4時
- 受付内容／貸金業に関する苦情の申し立て又は相談

ご確認ください

### 10月は労働保険適用促進月間です!

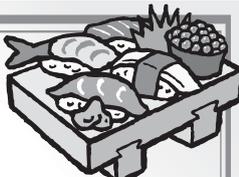
労働保険は、業務上の災害や通勤時に負傷等をした場合に、補償を行う労働保険と、失業した場合に失業給付を行う雇用保険が一体となつて、労働者の生活安定、福祉の増進等を目的にした、政府が直接運営、管理している保険です。厚生労働省では、今年度も十月を「労働保険適用促進月間」と定め、制度の理解を深めていただくとともに、未手

#### ●問合せ

- ・函館労働基準監督署 ☎0138・23・1276
- ・同江差駐在事務所 ☎0139・52・1028
- ・函館公共職業安定所 ☎0138・26・0735
- ・同江差出張所 ☎0139・52・0178
- ・同八雲出張所 ☎0137・62・2509

続事業の解消を目的とし、広報活動等を展開しています。詳しくは、お近くの労働基準監督署または公共職業安定所にお問合せください。

# きよ鮎



北檜山区北檜山11 ☎0137-84-5632

(当店、不定休のため電話にてご予約をお願いします。)

## 御法事・各種宴会のご予約承っております。

ご予算・料理などお気軽にご相談ください。飲み物持ち込み可です

ご来店の際は  
うきうきポイントカード  
を忘れずに!

- 特上鮎(二、二〇〇円)
- 上鮎(一、六〇〇円)
- 中鮎(一、三〇〇円)
- 並鮎(一、〇〇〇円)

- きよ鮎鮎券
- 北檜山商工協同組合商品券・特別商品券をお持ちの方、大歓迎です!!

(有料広告)

檜山支庁からのお知らせ～10月1日から施設内全面禁煙～

檜山支庁合同庁舎では、来庁者及び職員への受動喫煙による身体への悪影響を防止するため、10月1日（月）より施設内全面禁煙となりますのでご理解とご協力よろしくお願ひします。（屋外に喫煙指定個所を設置）

戸籍の窓口

(8月1日～8月31日届出)



お誕生おめでとう

- 河田 織玖くん (直樹) 西丹羽
- 植村 美鈴ちゃん (勝) 北檜山
- 久代 誠実ちゃん (章一) 本町3区
- 佐藤 楓ちゃん (真二) 都

ご結婚おめでとう

- 寺分 忠昭さん 上 浦
- 藤井 育子さん 長 磯

おくやみ申し上げます

- 佐々木優治郎さん (89歳) 栄
- 三浦 はるさん (99歳) 豊 岡
- 伊勢キヨノさん (101歳) 徳 島
- 工藤 光男さん (97歳) 兜 野
- 鈴木 醇一さん (64歳) 北檜山
- 田村 ミエさん (83歳) 北島歌1区
- 安藤 重一さん (77歳) 本町10区
- 土谷 正人さん (72歳) 久 遠
- 平澤マサエさん (92歳) 上 浦
- 山本 繁さん (57歳) 都
- 樋口 キサさん (72歳) 久 遠

この欄に掲載をしている方は、本人またはご家族の了解を得ています。

人口と世帯

8月末現在 (前月比)	
人 口	10,525人 (-17)
男	4,971人 (-10)
女	5,554人 (-7)
世 帯	4,678世帯 (-9)

お詫び  
 広報せたな9月号で、次のとおり誤りがありました。15ページの戸籍の窓口／おくやみ申し上げます欄に「狩野ミツさん(92歳)北檜山」とあるのは「狩谷ミツさん」の誤りでしたのでお詫びして訂正させていただきます。

善意に感謝します  
 ●社会福祉基金として  
 金一封  
 ・ 洪沢孝一様 (北檜山区豊岡)  
 ・ 宮本一敏様 (北檜山区若松)  
 ・ 田中敏治様 (埼玉県)  
 ・ 西本則子様 (八雲町)  
 ・ 越野邦夫様 (大成区久遠)  
 ●担い手育成基金として  
 金一封  
 ・ 佐々木誠治様 (二セコ町)

平成20年度 檜山広域行政組合消防職員採用試験

採用予定署	江差消防署	今金消防署	乙部消防署	
人 員	1名	1名	2名	
職 種	救急救命士		救急救命士	一般消防士
年 齢	昭和60年4月2日～昭和62年4月1日 生まれの方	昭和61年4月2日～昭和62年4月1日 生まれの方	昭和60年4月2日～昭和62年4月1日 生まれの方	昭和60年4月2日～平成2年4月1日 生まれの方
資格要件	救急救命士の免許取得者もしくは平成20年4月までに取得見込みの方 普通自動車第1種免許取得者若しくは取得見込みの方			
身体条件 (おおむね)	身長165cm以上、体重52kg以上、視力两眼裸眼で0.7以上かつ一眼裸眼でそれぞれ0.3以上、色覚正常で心身健全な方。			

- 募集期間／平成19年10月5日（金）～10月25日（木）
- 申込方法／備付の『申込書』に所定の事項を記入の上、受験票（写真貼付）とともに申込先に提出してください。
- 申込・問合せ先／  
 ・ 檜山広域行政組合消防本部  
 〒043-0052 檜山郡江差町字茂尻町96番地 ■0139-52-3026  
 ・ せたな消防署  
 〒049-4501 せたな町北檜山区北檜山323-1 ■0137-84-5709

年金係からのお知らせ

皆さんからお尋ねの多い 質問にお答えします

- Q.過去に加入していた厚生年金期間は、国民年金に反映されますか？
- A.公的年金は合算されます。



過去の厚生年金加入期間と国民年金を納めた期間を合わせて「25年以上」あれば、老齢年金が受けられます。国民年金保険料を納めていないと過去の厚生年金が掛け捨てになるばかりか、万一事故や病気で障害が残っても障害年金が受けられない場合があります。将来厚生年金に加入するようになっても同様です。年金の記録を早めに確認して、きちんと納めていくことが大切です。

将来のため、万が一の場合のため、国民年金保険料を納めましょう！

- 問い合わせ先／函館社会保険事務所 ■0138-56-1161
- ・ 本庁町民児童課戸籍年金係 [担当/栗城] ■0137-84-5111 (内線1137)
- ・ 瀬棚総合支所総務課戸籍年金係 [担当/浜登] ■0137-87-3311 (内線3114)
- ・ 大成総合支所町民福祉課戸籍年金係 [担当/栄田] ■01398-4-5511 (内線2158)



8月15日(水)、太櫓小学校体育館において「太櫓小学校海浜留学十周年記念式典」が開催され、これまでの留学生・保護者・里親・地域の方・旧職員関係者など約140名が参列しました。

式典では、村上校長から「発足の当時の児童の募集活動は並大抵の苦労ではなかっただろうと推察されます。関係者や地域の皆様のご努力が今につながっていると思います。」と式辞がありました。

式典後の思い出を語る会では、在校生のヨサコイ披露の後、旧職員・現職員、地元生・保護者、留学生・保護者や里親が、「20周年目指して頑張って欲しい」「この海浜留学で自分を見つけることができ良かった」など思い出や近況を報告しました。

◎太櫓小学校は、北檜山区では一番古い明治16年開校。かつてはニシン漁で栄えましたが、その後のニシン漁の不振、海難事故、集中豪雨などで人口が激減。平成5年の北海道南西沖地震により太櫓地区の人口はさらに半分になり、太櫓小学校は存続の危機を向かえました。「学校は地域の文化」と太櫓小学校の存続について地域ぐるみで検討を重ね、平成8年「海浜留学推進協議会」を発足。平成9年4月には念願の「海浜留学」をスタートしました。当時は留学生1人からのスタートで、留学生集めに奔走する毎日だったそうです。現在では、留学生は延べ150人以上となり里親制での海浜留学児童数は、山村留学も含めて全国1位となりました。

編集後記

▼表紙の写真は、食べっぷりが良いと評判の北檜山小学校2年生の給食シーンです。やらせなしの自然な「いただきます」です。▼今回は、収穫の秋にちなみ食に視点をあてた「地産地消」を特集してみました。予算や財政問題以外では、初めての特集ということで、じっくり読んでもらう内容にしたい反面、文字数はできるだけ少なくという要望も頭をよぎり、今回はこのような形になりました。せたな町での地産地消の取り組みでご紹介した関係者の皆さんには、忙しい中、快く取材にご協力頂き本当にありがとうございました。これからもたくさん地元での活動や、皆さんのコメントなどを紹介しながら、せたなの元気が魅力を発信していきたいと思っておりますので、ご協力ください。▼今年の水仙まつりに始まり、雨まつりが多いようです。事比羅神社例大祭と真駒内神社例大祭も見事な大雨が降りました。真駒内神社例大祭では、幸い気温が高めだったので、ずぶ濡れを染しみながら盛り上がり、終わった後はなぜか、清められたような爽快感がありました。▼今回から、町へ頂いた寄附について掲載することになりました。直接町に頂いたもののみ掲載していきますので、ご理解ください。すようお願いします。(乾)

